



## 2. 指標設定

成果指標	指標名	年間農業園芸生産額	目標年度	H27	指標の設定理由				
	数値	29.4億円			園芸振興アクションプランに掲げた戦略4品目、重点6品目を中心とした振興目標				
活動指標	指標	a	夏秋ピーマン	b	白ねぎ	c	かんしょ	d	さといも
	数値	目標	4.5億円	目標	2.3億円	目標	1.5億円	目標	1.1億円

## 3. 実績（上段・実績／下段・達成率）

成果指標名	単位	H20	H21	H22
年間農業園芸生産額	億円	-	-	-

活動指標名	単位	H20	H21	H22
a 夏秋ピーマン	億円		2.9 億円	3.3 億円
			64.4 %	73.3 %
b 白ねぎ	億円		0.4 億円	1.1 億円
			17.4 %	47.8 %
c かんしょ	億円		0.3 億円	0.4 億円
			20.0 %	26.7 %
d さといも	億円		0.3 億円	0.3 億円
			27.3 %	27.3 %

## 4. 課題と対応

課題
園芸振興アクションプランに掲げた戦略・重点品目に係る産地化及びブランド化を早期に図る
対応（改善点等）
関係機関による営農普及支援ネットワークを強化するとともに市単独事業として戦略品目産地化プロジェクト支援事業に取り組む

## 5. 事業費・・・H20～H22（決算額）、H23（予算現額）

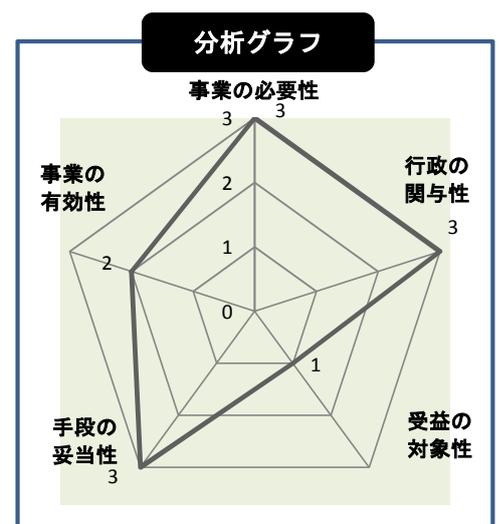
決算額（千円）		H20	H21	H22	H23
		320,170	44,248	400,486	88,787
うち経常経費		4,746	13,086	5,997	7,201
財源内訳	国費				
	県費	271,692	22,132	332,942	49,649
	市債				
	その他	4,979			
	一般財源	43,499	22,116	67,544	39,138
うち経常		4,746	13,086	5,997	7,201
事業費に係る人件費		4,415	4,352	6,219	6,536

## 6. H24年度予算の方向性

方向性
前年並
理由
予算は前年度並みであるが、総体的には県単補助事業並びに市単独事業を有効かつ効果的に実施することにより目標達成を早期に図る

## 7. 担当課による分析

着眼点	分析	分析根拠
① 事業の必要性	必要性の再確認	3 産地振興を図り農業生産額を上げるためには必要である
② 行政の関与性	責任領域の精査	3 国、県及び市の農業施策により事業を構築している
③ 受益の対象性	事業対象の確認	1 農業者を対象とした事業
④ 手段の妥当性	活動指標の分析	3 事業効果を発揮できる事業である
⑤ 事業の有効性	成果指標の判断	2 5年後の成果指標の達成に向け、事業を積極的かつ効果的に実施しなければならない



## 8. 内部評価委員会評価（委員会評価）

事業の方向性	評価内容
継続	農業振興計画に基づき農業生産額の向上に努めること